

教科名	美術	週時数	1 時間	学年	3 年生
使用教科書及び副教材		教科書 「美術 2・3」 (光村図書) 副読本 「美術資料」 (秀学社) 「レタリング字典」 (秀学社)			
美術の学習で目指すこと	知識・技能	・ 形や色彩、材料、光などの性質や、それらが感情にもたらす効果などを理解する。 ・ 造形的な特徴などを基に、全体のイメージや作風などで捉えることを理解する。 ・ 材料や用具の特性を生かし、意図に応じて自分の表現方法を追求して創造的に表す。 ・ 材料や用具、表現方法の特性などから制作の順序などを考えながら、見通しをもって表すこと。			
	思考力 判断力 表現力	・ 自然の造形や美術作品などの造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、機能美と洗練された美しさとの調和、美術の働きなどについて独創的・総合的に考えるとともに、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりする。			
	主体的に 学習に取り組む態度	・ 美術の創造活動の喜びを味わい楽しく感じ取ったことや考えたことなどを基にした表現の学習活動に取り組む。また、作品や美術文化などの鑑賞の学習活動に取り組む。			
学習の進め方	授業について	・ 三年生は集大成として、これまで学んだことを生かしながら、より主体的に作品の制作をすすめます。引き続き、ワークシートや言葉で考えを整理したり、学びあいを行い、言語活動の充実を図り、「振り返りシート」を使って授業への取り組みを振り返り次の制作に活かせるようにします。 ・ 鑑賞では、美術作品、文化遺産、生徒作品などを教科書・美術資料・動画などで鑑賞し、ワークシートを使い自分の意見や感想を述べられたり文章で表現したりします。 ・ 豊かな表現を支えるためにユニバーサルデザインした色彩の学習をおこなうために配色カードを利用し色覚のちがいを色名で補います。			
	家庭学習	・ 制作に必要な準備物を考えて用意したり、宿題を忘れずにしましょう。 ・ アイデアスケッチ等をためてアイデアの引きだしにストックしておきましょう。 ・ 芸術や美術に興味を持ち、美術館に足を運んだり、美術関連の番組などを見たりしておきましょう。 ・ 日頃より感性を磨き観察力を磨いておきましょう。			
	定期テスト	・ 授業内容を中心に、ワークシート、資料集の知識技能など基礎基本について観点別の問題や総合問題を出題します。基本である共通項目からの問題や、鑑賞の学習では授業内容や背景や歴史など総合的に出題します。まとめや復習をしておきましょう。さらに美術用語や道具、技法なども出題します。 ・ 実技の出題があります。この場合事前にテーマが発表されるときもあります。その場合は練習やアイデアの準備をしておきましょう。持参物があるときも貸し借りはできません。注意してください。			
学習上の注意	・ 各自の制作や授業に必要な資料や材料を準備し、制作に励めるようにしましょう。 ・ 提出物は期日を守って必ず提出しましょう。 ・ 根気よく制作に集中し、私語は慎みましょう。				

美術科 3年生 年間学習計画

単元	学習内容	月	評価	
			評価の観点	評価の場面・方法
オリエンテーション	授業の取り組み方	4	知識・技能	・アイデアスケッチ ・作品 ・鑑賞のワークシート ・ファイルのプリント ・グループワーク ・pc学習 ・定期テスト
色彩学習	類似色相・対照色相			
デッサン	四角いもの			
浮世絵	葛飾北斎・歌川広重			
パッケージデザイン	身近なデザイン アイデアスケッチ 制作計画 作品制作 作品鑑賞	5		
		6		
		7		
レオナルド・ダ・ヴィンチ	「最後の晩餐」	9	思考力・判断力・表現力	・アイデアスケッチ ・作品 ・鑑賞のワークシート ・ファイルのプリント ・グループワーク ・pc学習 ・定期テスト
伝統工芸	三重県の伝統工芸			
立体感のある構成	透視図法			
デッサン	丸いもの			
パブロ・ピカソ	「ゲルニカ」			
立体造形	張り子のデザイン 制作計画 作品制作 作品鑑賞			
美術の歴史	海を越えた文化交流 漫画とアニメーション 美のルーツを探る			
美術とつながる仕事 や生活	生活の中で生きる美術 色彩の知識を生かす 仕事の中の美術の知識	1	主体的に学習に取り組む態度	・美術の創造活動の喜びを味わい主体的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。 ・授業での様子 ・振り返りシート ・レポート ・ファイルのプリント ・調べ活動 ・グループワーク
		2		
		3		